



西宮中学校改築・（仮称）コミュニティふらっと宮前整備に関して

オープンハウスにご来場いただきありがとうございます。

この取組では、西宮中学校改築及び（仮称）コミュニティふらっと宮前整備について、5月から学校・地域関係者・学識等から成る改築等検討懇談会を開催し、懇談会委員や関係者と学校改築、集会施設整備について検討を重ねてきました。

今回は、懇談会に参加していない皆さんからも「改築や整備等で目指すべき学校及び施設像」である「西宮中学校改築及び（仮称）コミュニティふらっと宮前整備基本方針」についてご意見を伺うために、オープンハウスを開催するものです。

オープンハウスのプログラム

○パネル展示をご覧ください

検討対象となっている施設の概要や取組、検討内容をご覧ください。区職員が個別に説明いたします。

○アンケートにご協力ください

パネル展示や区職員の説明等を踏まえて、アンケートにご記入いただき、この取組や改築基本方針に対するご意見をお聴かせください。

この取組を詳しく知るには・・・

オープンハウス当日の配布資料のほか、改築等検討における詳細は区ホームページ（右二次元コード）に掲載していますので、ぜひご覧ください。



西宮中学校の概要

●教育目標

心豊かな人（徳）

自ら学ぶ人（知）

健康な人（体）

●西宮中学校の生徒数・学級数
（令和 7 年(2025年) 5 月時点）

生徒数	学級数
3 3 2	9



●西宮中学校の施設規模

敷地面積	校舎面積	運動場面積 (有効面積)	体育館面積	プール
10,808㎡ (直近の測量結果 10,077㎡)	5,033㎡	4,635㎡（※）	843㎡	25m×10.2m

※建物用地以外の面積。授業や部活動等で使用できる校庭の広さは約4,400㎡。

西宮中学校校舎の状況

昭和 3 6 年(1961年) 設立
（区立宮前中学校西分校が独立し
区立西宮中学校として設置される）

昭和 3 8 年(1963年) 体育館完成
昭和 3 9 年(1964年) プール完成
昭和 4 1 年(1966年) 給食室完成
昭和 5 5 年(1980年)
テニスコート、校庭フェンス等 工事完了
昭和 5 7 年(1982年) 家庭科室部分増築
平成 1 2 年(2000年) 校舎耐震補強工事
平成 1 3 年(2001年) 北東校舎改築
1 階会議室・教育相談室・2 階多目的室工事完了



これまでの経緯について

○老朽化した西宮中学校について、『杉並区立施設再編整備計画（令和3年度改定）』において、
周辺施設である宮前図書館複合化を視野に計画化

令和4～5年度（2022～2023年度）

「西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会」を実施（7回開催）

○懇談会での主な意見

- ・中学校のグラウンド（約4,400㎡）は現在でも運動会や部活動を行う広さとしては十分ではなく、改築に当たっては、現在と同規模又はそれ以上を確保してほしい。
- ・図書館との複合化だけでなく、周辺の区立施設の再編を含め、地域全体を見渡して検討すべきではないか。

○支援業務において・・・

- ・配置・平面計画の検討を行ったところ、一定のスリム化を図ったうえで複合化した場合であっても、現在と同規模のグラウンドを確保するためには、学校・図書館ともに一部地下化（概ね1,000㎡）が必要となりコスト増となることが判明



○中学校及び図書館に限らず、周辺の区立施設を含む地域全体について改めて検討することとした。

令和6年度（2024年度）

「西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の更新等に関する検討」

令和6年度（2024年度）

「西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の更新等に関する検討」を実施
（ワークショップ5回、地域意見交換会1回、結果報告会1回）

○対象施設



▲西宮中学校



▲ゆうゆう大宮前館
（大宮前保育園の2階）



▲さざんかステップアップ教室
「宮前教室」（宮前図書館との併設）

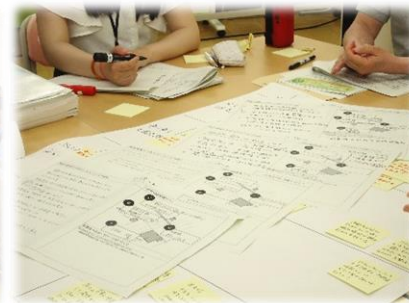


▲宮前図書館



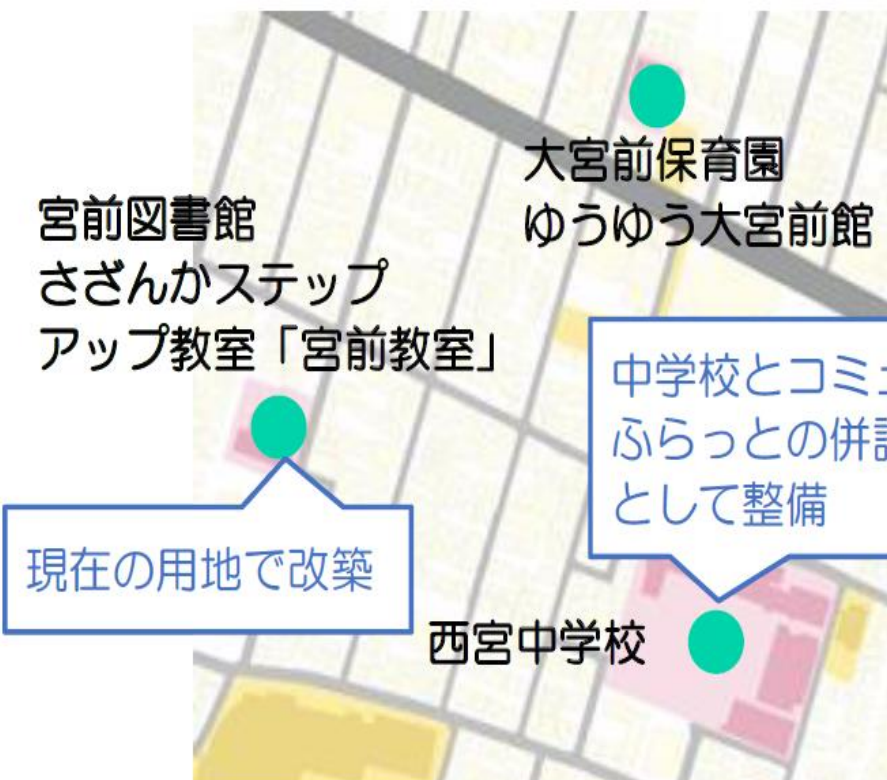
▲大宮前保育園

○ワークショップ等の様子



令和 6 年度（2024年度） 西宮中学校、（仮称）コミュニティふらっと宮前の改築・整備の計画決定

杉並区区立施設マネジメント計画（第 1 期）第 1 次実施プラン
令和 6（2024）年度一部修正（令和 7 年 1 月）



○西宮中学校を改築するとともに、新たに（仮称）コミュニティふらっと宮前を西宮中学校に併設。

○ゆうゆう大宮前館は（仮称）コミュニティふらっと宮前に機能継承し、利用者の活動場所を確保。

○大宮前保育園は、現在の用地で改築。

○宮前図書館及びさざんかステップアップ教室「宮前教室」は現在の用地で改築。

【この計画に決定したポイント、考え方】

西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の更新等に関する検討 「検討まとめ」 P42～

西宮中学校、（仮称）コミュニティふらっと宮前の改築・整備計画概要

○中学校を単独改築した場合と比べ、より一層地域の拠点となる開かれた学校として整備することができるため、中学校に集会施設を併設する。

○ゆうゆう大宮前館を機能継承し、利用者の活動場所を確保するが、宮前地域に多世代が利用できる集会施設がないことや、中学生をはじめとした幅広い世代への効果が見込まれることを踏まえ、多世代型の集会施設「コミュニティふらっと」として整備し、地域の学びと交流の拠点となることを目指す。

○学校教育に必要な諸室や機能の充実、現在と同等あるいは同等以上の校庭面積の確保については、中学校を単独改築した場合と同様に行っていく。

○コミュニティふらっと利用者が中学校の区画に許可なく立ち入れないようにする、中学生のプライバシーに配慮して建物配置を工夫する等、ワークショップ等における懸念点は令和 7 年度（2025 年度）以降に実施する基本設計等に反映していく。

※西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の更新等に関する検討 「検討まとめ」 より一部抽出

コミュニティふらっととは

乳幼児親子を含む子どもから高齢者まで、誰もが身近な地域で気軽に利用でき、世代を超えて交流・つながりが生まれる新たな地域コミュニティ施設です。

(令和7年4月1日現在、区内8か所で運営しています。)

コミュニティふらっと(標準規模)のイメージ



【参考】 諸室イメージ



ラウンジ



集会室

高齢者団体優先枠

一般利用者に先駆けて集会室を優先的に使用できる「高齢者団体優先枠」を設けることで、高齢者の活動機会を確保しています。

■多世代交流イベント、自主事業

- 身近な地域におけるコミュニティの形成に資するため、子どもから高齢者までの全ての世代が交流することができるよう全館型の行事を企画し、年2回実施しています。
- 地域特性を踏まえ、施設を運営する事業者が、子どもから高齢者まで全ての世代の交流を目的とする講座やサロン等の自主事業を実施しています。



多世代交流イベントの様子



自主事業の様子

今回整備する(仮称)コミュニティふらっと宮前は、近隣のゆうゆう大宮前館の高齢者団体の活動場所としての機能を継承します。

ゆうゆう館の紹介

- 利用対象者:杉並区にお住まいの**60歳以上**の方々
- 施設数:**26施設**(令和7年(2025年)4月時点)
- 利用方法(個人利用及び団体利用は無料)

個人利用	一般和室または談話室・談話コーナーで、テレビ・囲碁・将棋などを自由に利用可能
団体利用	趣味やいきがいづくりなどの活動に、洋室・和室・茶室・講座室・多目的室・ホールなどを利用可能
目的外使用	空いている部屋がある場合は、一般の方も 使用可能(要事前予約/有料)

■ 協働事業

各ゆうゆう館の施設運営業務を担う**NPO**法人などの団体が、「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」などに関する講座・催し(スマホ講座・囲碁・卓球・ヨガ・コーラスなど)を実施しています。※事業により参加費がかかります。

(仮称)コミュニティふらっと宮前に機能継承するゆうゆう大宮前館の紹介

施設が老朽化したゆうゆう大宮前館については、令和6年度（2024年度）に実施した「西宮中学校の改築と老朽化した周辺施設の更新等に関する検討」の中で、西宮中学校の改築と合わせて整備する（仮称）コミュニティふらっと宮前に、高齢者団体の活動場所等の機能を継承していくこととしました。

■ 築年数・延床面積・部屋数等

築年数	延床面積	洋室1	洋室2	洋室3	構造
60年 (S40年築)	199.44㎡	57.9㎡	22㎡	23.7㎡	鉄筋コンクリート造 エレベーター未設置



洋室 1



洋室 2



洋室 3

■ 活動団体数

26団体(令和6年度(2024年度)下半期)

■ 団体人数

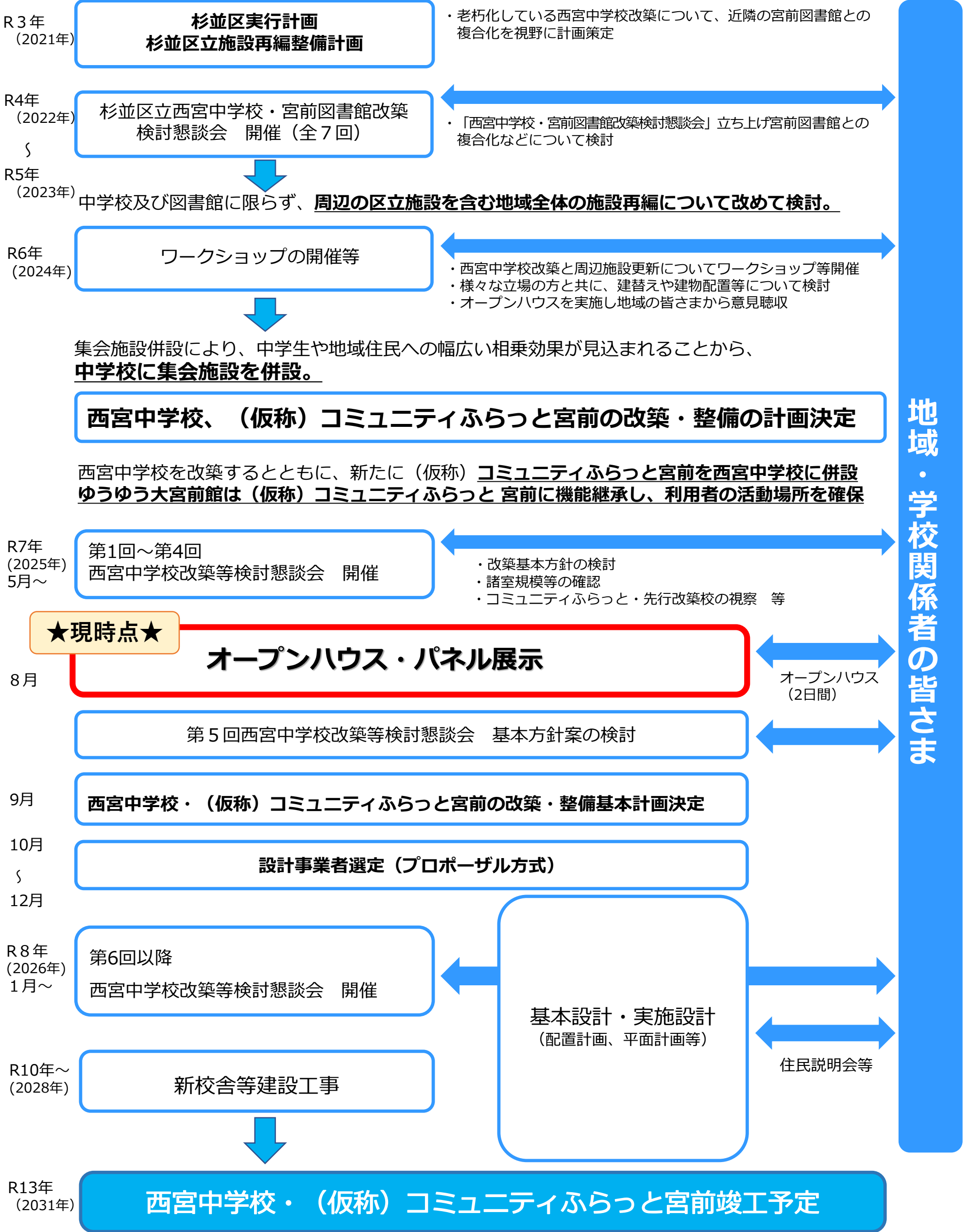
259人(令和6年度(2024年度)下半期)

■稼働率(令和6年度(2024年度))

部屋名	施設全体	9～12時	13～17時	18～21時
洋室1	56%	73%	76%	8%
洋室2		77%	76%	29%
洋室3		73%	52%	19%

【参考】
ゆうゆう館全体稼働率
⇒約52%
(高齢者活動支援センターは含まず)

西宮中改築に関するこれまでの経緯・今後のスケジュール



ワークショップ（西宮中学校生徒）

2025年6月30日、現在西宮中学校に通学している生徒27名にご参加いただきワークショップを開催しました。

新しい西宮中学校は、どんな学校になってほしいか？学校・コミュニティふらっとそれぞれにどんな設備等があったらいいか？など、各班に分かれて話し合いました。

Q1-1 今の西宮中のいいところ

- ・部活動が強い
- ・行事にしっかり取り組む
- ・震災救援所訓練への参加をしていること
- ・床などに木材を使っている

Q1-2 西宮中にはどんな学校になってほしいですか

- ・自然と触れ合える学校、緑を増やしてほしい
- ・色々な人が快適に過ごせる場所
- ・行事や部活動が活発な学校
- ・自習室がある学校
- ・図書館を広くしてほしい



Q2 新しい西宮中にはどんな設備や機能がほしいですか

- ・校庭をもっと広くしてほしい
- ・部活動の設備を増やしてほしい
- ・ロッカーを広く、大きくしてほしい
- ・冷水機を増やす、各階に設置する
- ・全学年の下駄箱を1か所に整備してほしい

Q3 併設されるコミュニティふらっとをどのように使いたいですか

- ・自習などの個人での利用
- ・談笑や軽い運動、一緒に勉強するなどの、友達との利用
- ・多世代や地域の方々との交流の場
- ・リラックスできる休憩スペース
- ・音楽活動



Q4 地域の多世代のみなさんが交流するために、コミュニティふらっとでどのようなことを行えばいいですか

- ・お祭り
- ・みんなが関われるイベントの開催
- ・レクリエーション
- ・リラックスできるスペースの設置



Q5 放課後に、学校の施設を利用して何かしたいことはありますか

- ・自習、友達と勉強
- ・友達と遊ぶ
- ・部活、自主練習
- ・楽器演奏



アンケート（西宮中学校生徒・教職員）（抜粋）

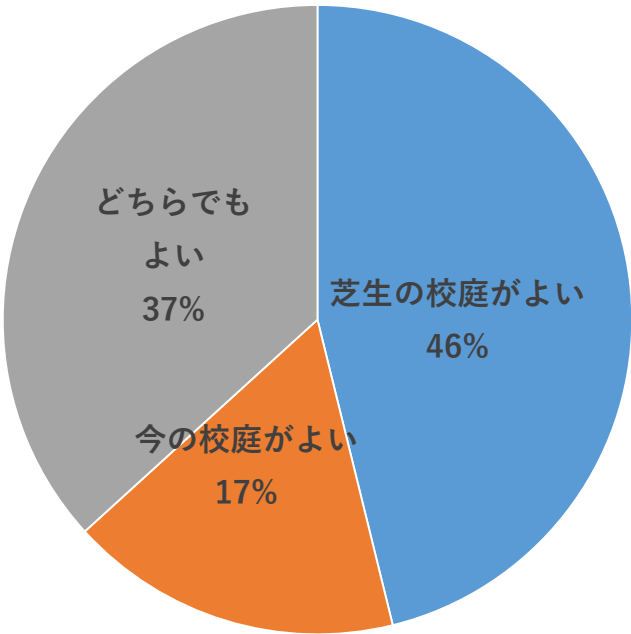
現在通学している生徒のみなさま、及び教職員のみなさまに、西宮中学校改築に向けて快適に学べる学校環境を整備していくためアンケートのご協力をいただきました。

回答期間: 6月23日(月)～6月27日(金)

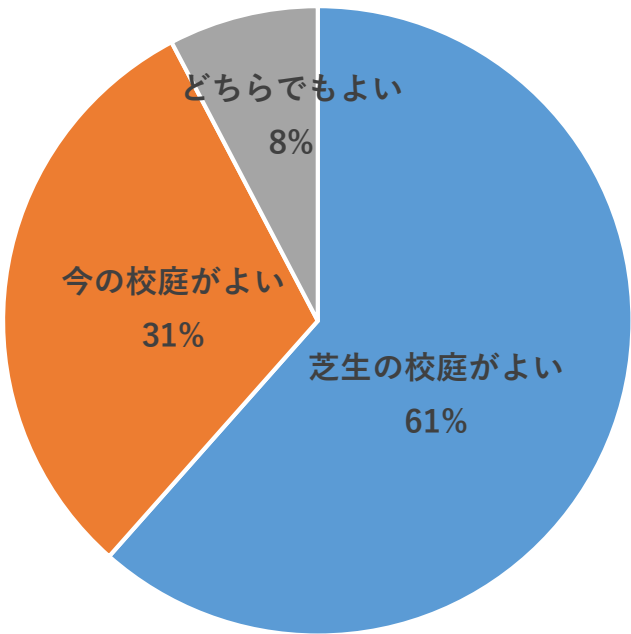
回答者数: 生徒約240名、教職員約20名

Q1 杉並区以外の学校では、校庭が芝生の学校が増えてきています。校庭が芝生の学校についてどう思いますか。

生徒



教職員



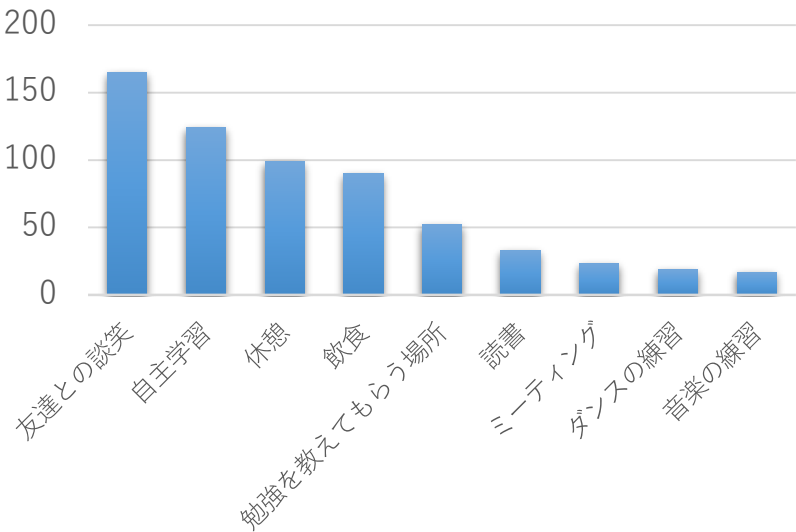
Q2 新しい西宮中学校にどのような設備や機能があればよいと思いますか。

- ・ カフェのような場所
- ・ 気軽に友達といられる自由なスペース
- ・ 自習室
- ・ 広い学校図書館
- ・ 地域の人と関われる場所
- ・ バリアフリー設備
- ・ 安心、安全に過ごせる場所

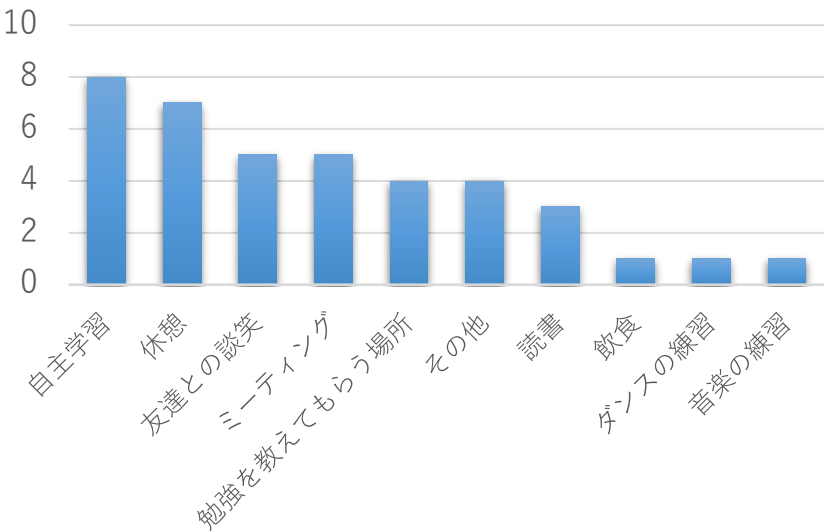


Q3 コミュニティふらっとをどのように使いたいですか。

生徒



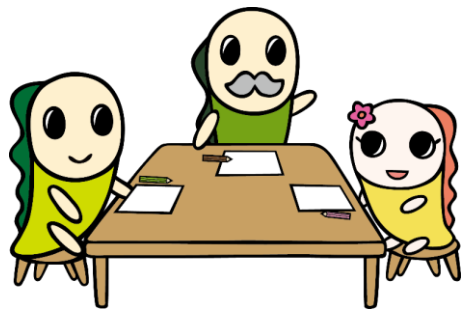
教職員



アンケート（西宮中学校生徒・教職員）（抜粋）

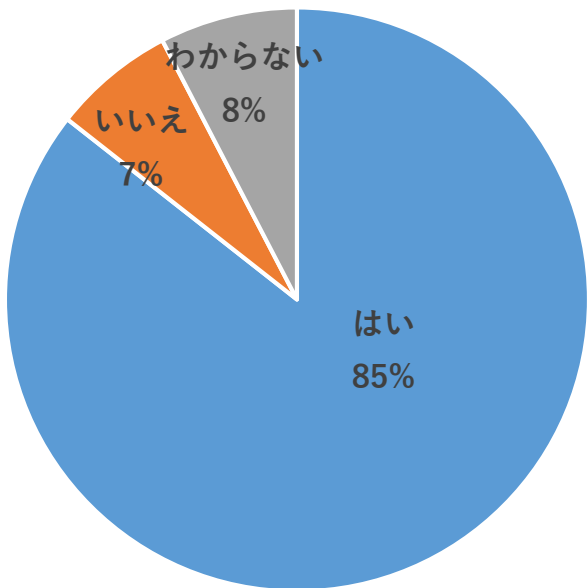
Q4 コミュニティふらっとにどのような設備・機能があればよいと思いますか。

- ・仕切りや個室など、集中して勉学に励めるスペース
- ・友達と談笑できるスペース
- ・飲食スペース
- ・防音室や鏡がある部屋
- ・用途に応じた部屋
- ・セキュリティが確保された場所
- ・団体用の机と個人用の机

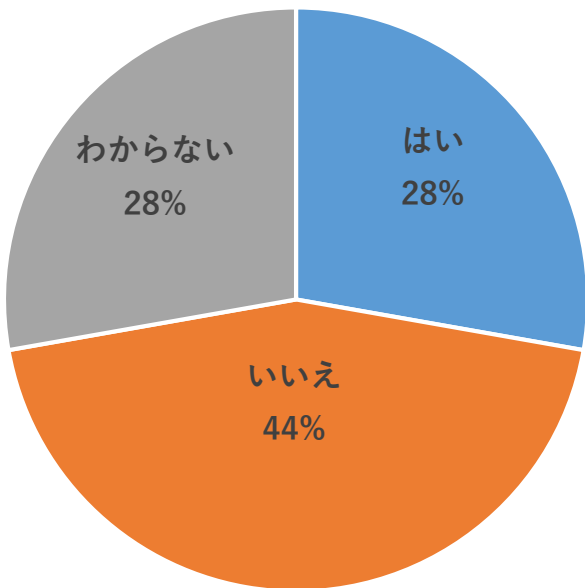


Q5 放課後、学校の多目的室などがカフェとなり友達と過ごすことができるようになったらいいなと思いますか。

生徒

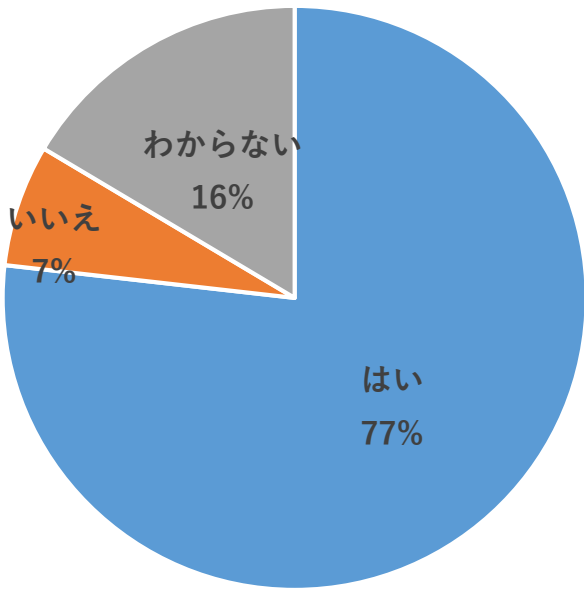


教職員

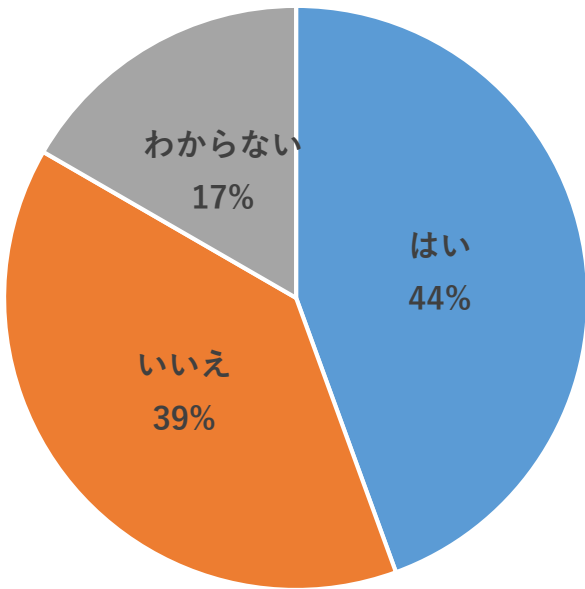


Q6 土・日曜日も学校の会議室や多目的室が気軽に使用できる機会が増えたらいいなと思いますか。

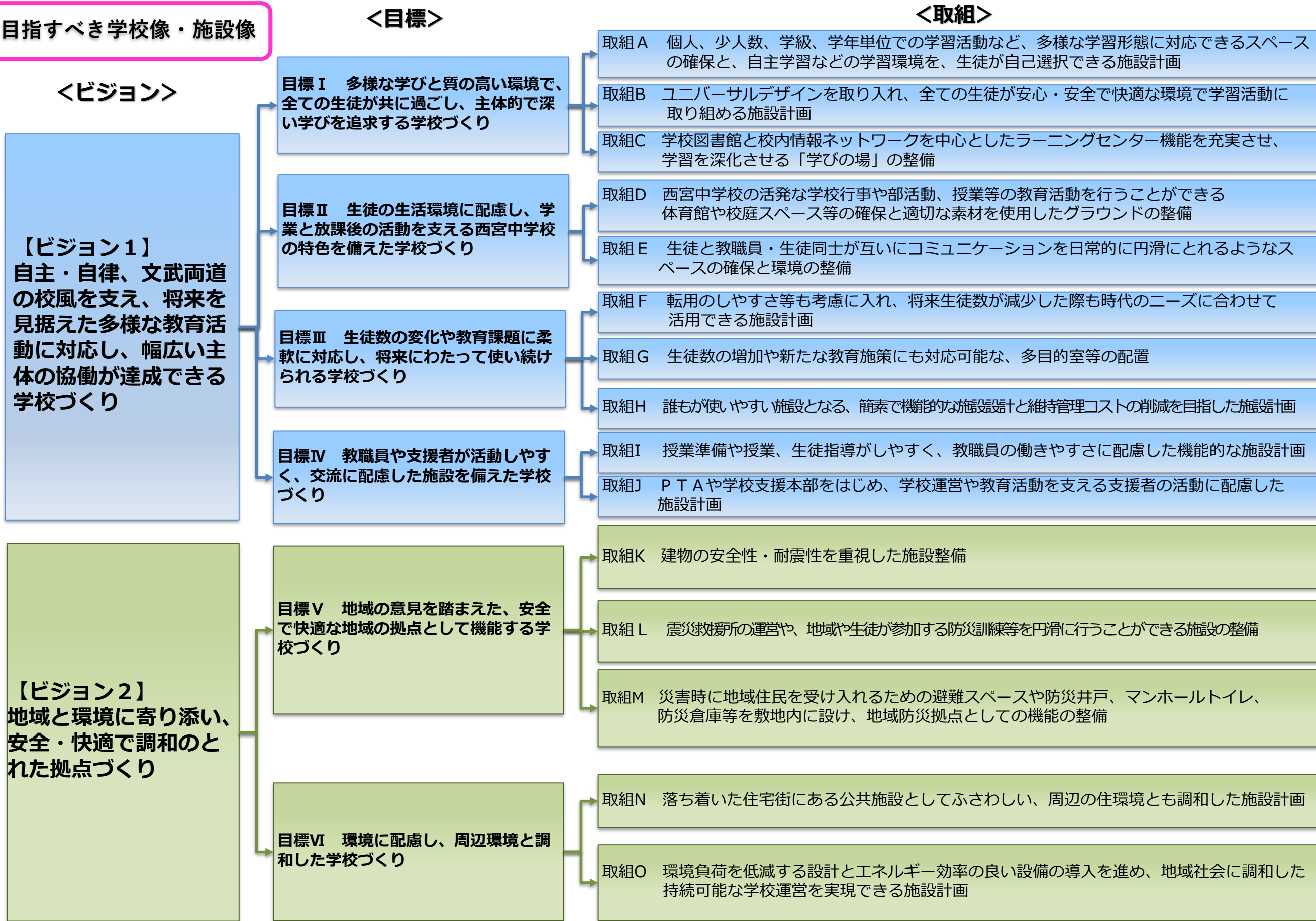
生徒



教職員



西宮中学校改築及び（仮称）コミュニティふらっと宮前整備基本方針（素案）



西宮中学校改築及び（仮称）コミュニティふらっと宮前整備基本方針（素案）

目指すべき学校像・施設像

＜目標＞

＜取組＞

＜ビジョン＞

【ビジョン3】
地域のコミュニティの
中心として、世代を超
えた多様な区民が出会
い、学びや交流が広がる、学校と集会施設との複合的施設

目標Ⅶ 学びのプラットフォームとして、多様な学びのニーズに応えられる施設・設備を備え、区民の学びや交流の場としての活用が進む施設づくり

目標Ⅷ 中学校敷地内へ集会施設を整備するという、本施設の特徴を活かした、多世代が集い、くつろぎ、身近な地域のコミュニティ形成につながる施設づくり

取組P 子どもたちの学びと区民の多様な学びが共存し、相乗効果が生まれるような施設計画

取組Q 子どもから高齢者までの多様な利用者を想定し、区民の学びや交流の場としても活用できる施設計画

取組R 中学校とコミュニティふらっとが連携し、交流しやすい運営を踏まえた施設計画

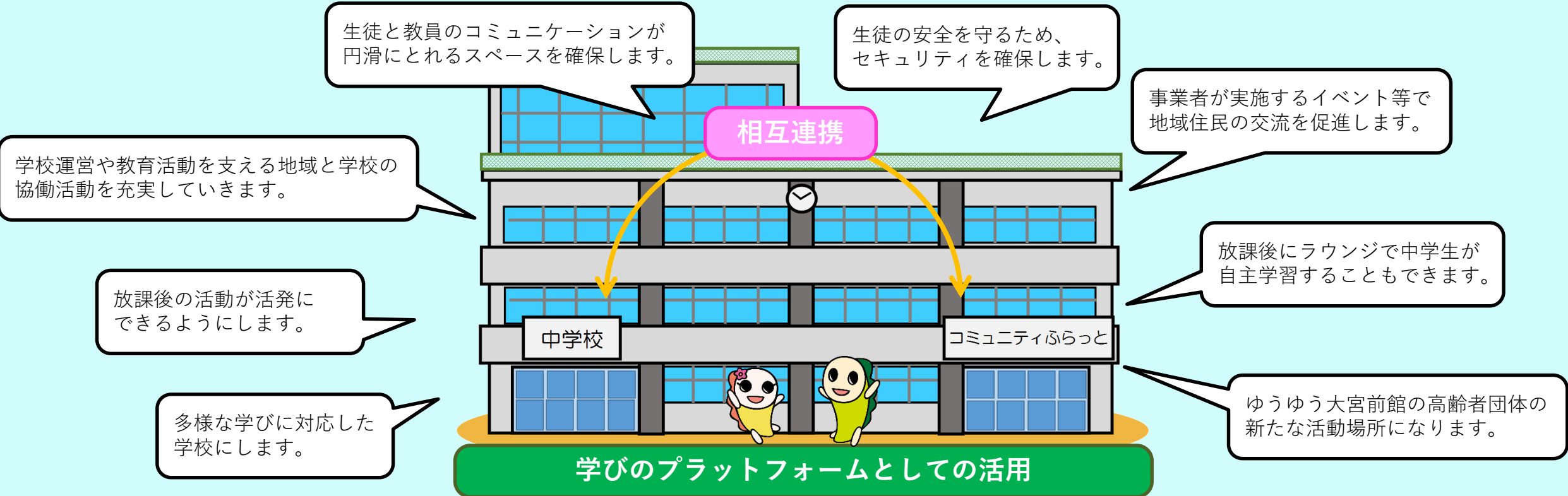
取組S 中学生の放課後等の利用も想定した施設計画

取組T ゆうゆう大宮前館の機能を継承する観点から、高齢者に配慮した施設計画

取組U 生徒のプライバシーや安全に配慮した施設計画

■西宮中学校・（仮称）コミュニティふらっと宮前の整備イメージ

学校とコミュニティふらっとが連携し、中学校の教育環境の向上を図るとともに、地域住民の学びや交流を育む施設を整備します。



西宮中学校改築規模（素案）①

表 1 西宮中学校 生徒数・学級数（推計値）

	1年		2年		3年		合計	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
令和7年度 (2025)	101	3	120	3	111	3	332	9
令和8年度 (2026)	108	4	101	3	120	3	329	10
令和9年度 (2027)	106	4	108	4	101	3	315	11
令和10年度 (2028)	109	4	106	4	108	4	323	12
令和11年度 (2029)	104	3	110	4	107	4	321	11
令和12年度 (2030)	102	3	104	3	110	4	316	10
令和13年度 (2031)	110	4	102	3	104	3(4)	316	10(11)
令和14年度 (2032)	74	3	110	4	102	3	286	10
令和15年度 (2033)	74	3	74	3	110	4	258	10
令和16年度 (2034)	76	3	74	3	74	3	224	9
令和17年度 (2035)	79	3	76	3	74	3	229	9

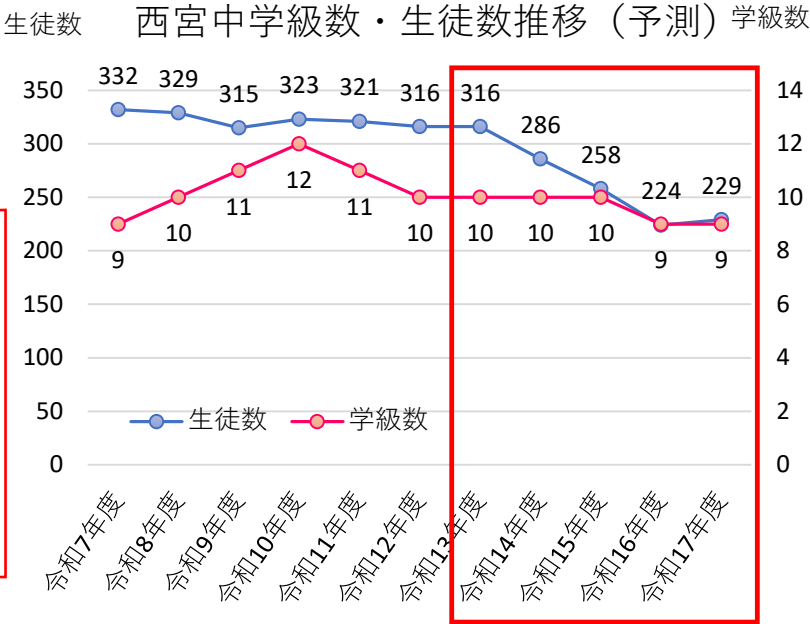
※令和7年度は実数。令和8年度以降は推計値。

新校舎利用年度

表 2 【参考】学級編成基準

※段階的35人学級の導入を想定し算定

学級数	生徒数
1学級	1～35
2学級	36～70
3学級	71～105
4学級	106～140



- 西宮中学校の生徒数は令和10年度にピークを迎え、その後減少傾向ではある。
- しかしながら、竣工年度の令和13年度は2～3名程度の増により学級数が1クラス増える可能性があり、この場合令和13年度は最大11学級となる。



普通教室11学級規模（または10学級）で改築

※それ以上になった場合でも、普通教室に転用可能な英語教室等を整備する。

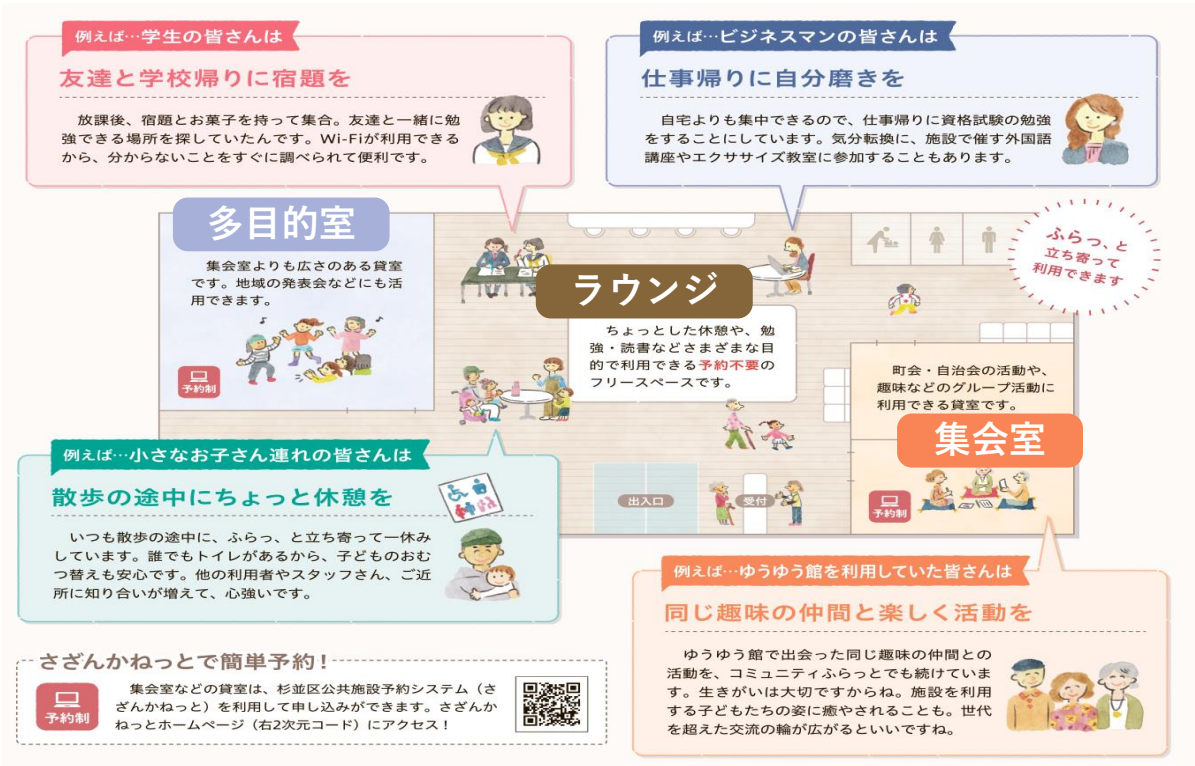
西宮中学校改築規模（素案）②

■ 西宮中学校の諸室面積について ～『杉並区立学校施設整備計画（第2次改築計画）』（R3.3）～

用途分類		現状面積 9学級	改築面積 11（10）学級
校舎	普通教室	627㎡	792（720）㎡
	特別教室・準備室	1,818㎡	1,706（1,778）㎡
	管理・その他諸室	2,285㎡	3,135㎡
	プール附属施設	46㎡	100㎡
	特別支援教室	55㎡	72㎡
屋内運動場・付属諸室		799㎡	1,006㎡
その他	給食調理諸室	181㎡	286㎡
	会議室諸室	26㎡	181㎡
	屋外倉庫等	56㎡	136㎡
総 計		5,893㎡	7,414㎡

(仮称)コミュニティふらっと宮前の諸室規模等

コミュニティ
ふらっと
(標準規模)
のイメージ



■ (仮称) コミュニティふらっと宮前で整備を想定する諸室及び規模

用途分類	想定規模	
集会室 (4室)	①20～30㎡ ②20～30㎡ ③50～60㎡ ④40～50㎡ ※①②は一体使用可。一部の部屋については、ゆうゆう大宮前館の利用者の優先使用を想定	
多目的室 (1室)	・ 80～90㎡ ・ 集会室よりも広い貸室 ・ 壁面に鏡を設置、軽い運動ができます	
ラウンジ (1所)	・ 80～90㎡ ・ 予約なしで、どなたでもお使いいただけます ・ 飲食可能スペースであり、フリーWi-Fiが使えます ・ 個人利用できるテーブルと団体利用できるテーブルがあり、自主学習もできます	

※この他にも、中学生から要望が多かった、楽器練習ができる部屋など、施設の規模（600㎡程度想定）を踏まえて設置可能性を検討していきます。

【参考】

■ ゆうゆう大宮前館の部屋面積と令和6年度時間帯別の利用率

部屋	面積	9～12時	13～17時	18～21時	施設全体
洋室 1	57.9㎡	73%	76%	8%	56%
洋室 2	22.0㎡	77%	76%	29%	
洋室 3	23.7㎡	73%	52%	19%	

※洋室 2 と 3 は一体使用可

■ ゆうゆう大宮前館の利用状況

登録団体：26団体（令和 6 年度下半期）

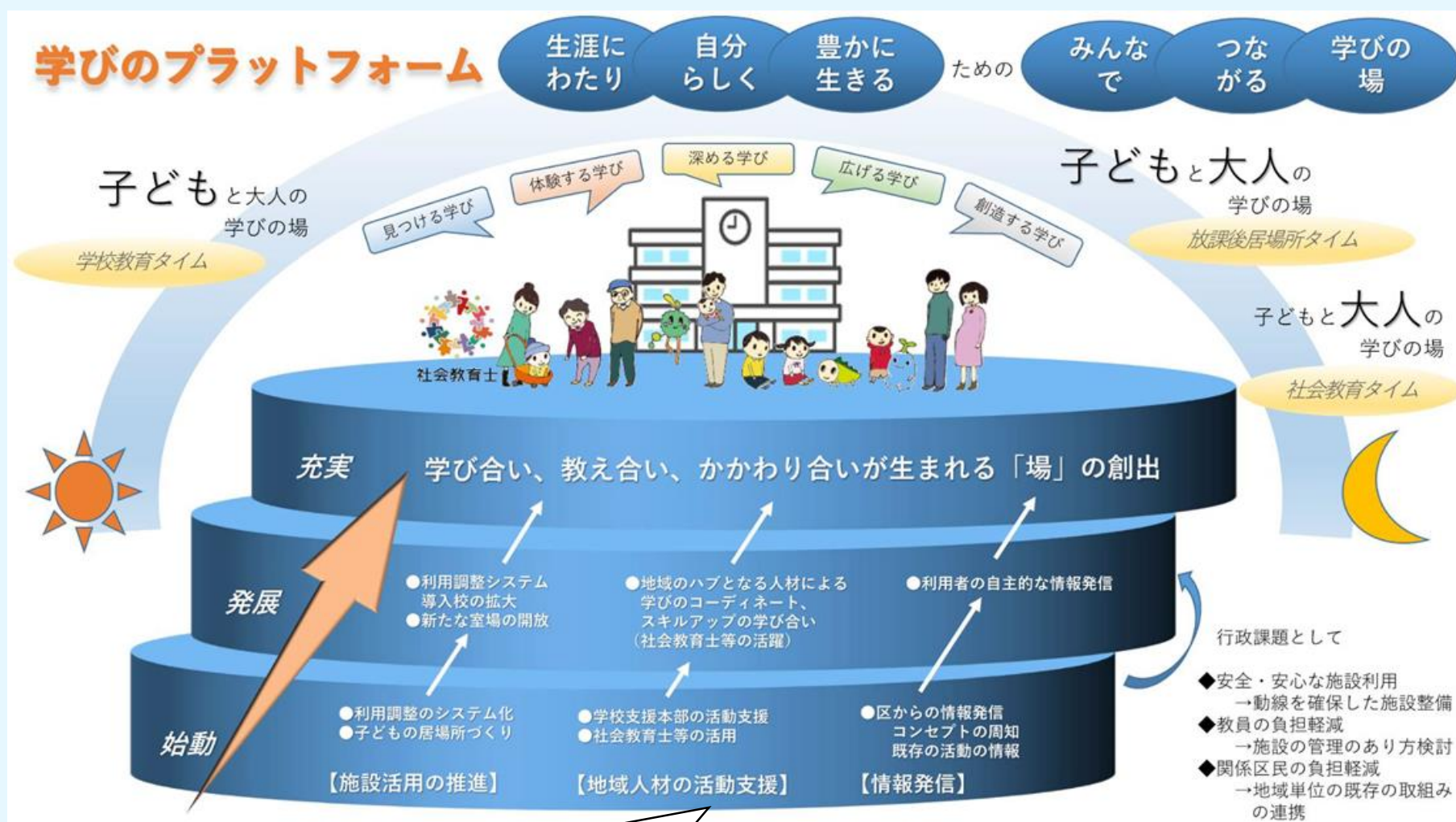
主な利用種目：スポーツ吹き矢、輪投げ、卓球、体操、手芸、俳句、囲碁

コミュニティふらっとの運営、学びのプラットフォーム

- コミュニティふらっとの運営事業者は、単に受付などの事務をするだけでなく、自ら施設の諸室などを活用して、「多世代交流イベント」（年2回）や講座等の「自主事業」（随時）を実施するなど、多世代交流の仕掛けを展開していきます。
- 運営事業者には、日々の施設運営やイベントの実施などを通して、地域と施設、あるいは地域で活動する方同士を緩くつないでいくような役割を担っていただくことを期待しています。
- これまでに開設したコミュニティふらっとでは、ゆうゆう館の協働事業者（NPO法人）なども事業者として選定され、ゆうゆう館と同様に、地域との結びつきを大切にしながら運営をしています。
- 受付は、常時2名体制としています。
- 本施設では中学校の敷地内に整備するという特徴を活かし、中学校と綿密に連携し、中学生の利用や学びのプラットフォームとしての役割も受け止めながら、身近な地域コミュニティの形成につながるような運営を目指します。

学びのプラットフォームとは

- 身近な学校を、放課後や休日など、学校教育以外の場面で子どもたちや地域のために活用したり、社会教育施設をこれまで以上に活用したりすることで、**区民誰もが世代を超えて学び合い、教え合うことができる場**を広げていこうとする区独自の考え方です。
- 西宮中学校と（仮称）コミュニティふらっと宮前の2つの施設を複合的に整備することで、学びのプラットフォームとしての機能がより一層発揮されます。



コミュニティふらっとを中学校と複合的に整備することで、学びのプラットフォームとしての活用の可能性を広げます。